



# 飯沼中だより

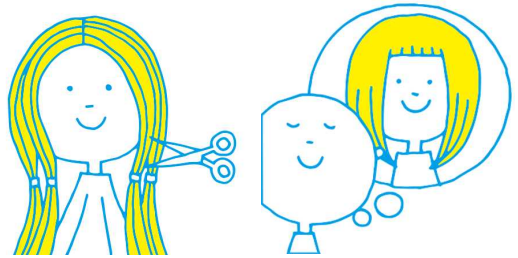
# 3月

一人ひとりが輝き 学級 学年が輝く学校 平成31年3月1日(金)  
飯沼中学校 TEL 746-7321 さわやか相談室 746-4572  
<http://www.iinumachu.av-center.kasukabe.saitama.jp/> 生徒数 346名 (3月1日現在)

## 私の髪の毛

1年 小林 真唯

今の私の幸せは、健康な生活を送れていることです。友達と楽しく遊べたり、おいしいご飯を食べれたり、健康だとたくさんの楽しい事ができるのです。しかし、私と同年で、病気になる辛い思いをしている人もたくさんいます。なので私は、そのような病気で辛い思いをしている子達を少しでも笑顔にしてあげたいと思いました。



これは私が、4年生の頃の話です。私は髪の毛が長く、もうすぐ夏だからといって髪を切る予定でした。そんなある日、母はこんなことをつぶやきました。「病気で髪の毛がなくなってしまった子達に髪の毛を寄付したら？」その言葉を聞いた私は、インターネットで、髪の毛の寄付について調べました。調べてみるとヘアドネーションという言葉ができました。ヘアドネーションとは、寄付された髪だけでウィッグを作り、頭髪に悩みを抱える18才以下の子供達に提供するというものです。私はすぐに髪の毛を寄付したいと思い、髪を切るのをやめてもう少しのばすことにしました。そして今、私は中学1年生になり、ヘアドネーションをする事になりました。しかし、髪を寄付するには、35センチ切らなければいけません。また、店員さんも、本当に切ってもいいのですか、と何度も聞いてきました。けれど、私は4年生の頃から決めていたことなので、「お願いします。」とはっきり言うことができました。髪を切った後に、寄付する髪を見てみると、長い髪の毛が何本か束になっていました。この私の髪が誰かの助けになると思うと、とてもうれしい気持ちになります。寄付した髪でウィッグが作られ、誰かの髪になるのです。誰に届くかは分かりませんが、きっとこのウィッグが、誰かのためになるはずですよ。

私は、このヘアドネーションを通して学んだことがあります。まずは、健康な体の大切さです。健康だから友達と楽しく遊んだり、おいしいご飯を食べる。ということも大切ですが、健康だからこそ、病気の子達の手助けをすることも大切だと考えました。みんなが楽しく過ごせるような平等の社会にしていきたいです。

次に親切とはどのような事かを学びました。今まで私は、親切という言葉の意味深く考えたことがありませんでした。けれど、このヘアドネーションを通して、親切とはどのような事かを考えてみました。人の気持ちを考え、行動する事。これが私が考えた親切です。前まで親切とは、優しい事をすればいいと考えていましたが、相手の気持ちを考え行動するのが親切だと、改めて気付きました。私は将来、親切な看護師になるのが夢です。そして、患者さん、一人ひとりに、笑顔を届けていきたいです。

小さな親切作文 敢闘賞

髪を寄付することを決意し、健康や親切について考えた小林さん。先月号で紹介した、勇気を出して妊婦さんに席を譲った尾崎さん。二人には、共通している点があります。それは、相手の気持ちや身体を思いやり、相手の立場を尊重し、次に言葉をかけたり行動に出たりしている点です。

「優しさとは」、「親切とは」という問いに、皆さんそれぞれにこたえがあると思います。人が二人集まれば、そこには相手があります。学校や家庭、地域も同じではないでしょうか。「優しさ」「親切」について問い続けていきましょう。(校長)